

家族ふれあいカード

家族と図書館に行きました。
たくさん本があったので、楽し
かったです。本をたくさん読め
て、うれしかったです。これから
も本をたくさん読みたいです。

小学4年 女

図書館に行って、ゆっくりと
本を読むことができてよかつ
たです。小さいころより厚め
の本を読むようになり、成長
したなあと思いました。 母

毎月第3日曜日 家庭の日

市内小学校・
中学校から、
991点取り組み

ふれあい読書カード



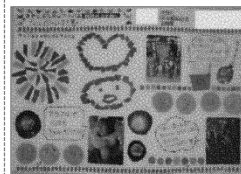
市内
保育所(園)
幼稚園
小学校
(1~2年)
から、
277点
取り組み



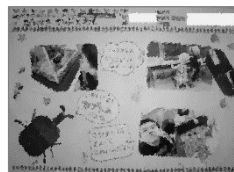
読書カードを実施して

- ◆子どもの心の発達が促されます。
- ◆親子の『きずな』が深まります。

親子アルバム

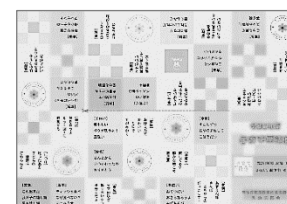


市内
保育所
保育園
認定こども園
から、
193点出展



乳幼児のご家庭では、子どもの成長の
記録として、親子で楽しくふれあって、
アルバムを作成しました。
市文化祭に出展しました。

子育て標語



付き合うよ
もう1回!に
何度でも
子の成長
「今」を見ないと
もったいない

今年度は、紙だけでなく、
デジタルでも募集しました。

市内保育所・保育園・認定こども園から、58点出展

【お題】
「あいさつ、家族、食事、お手伝い」の中から、
お題を選択

子育てふれあい標語は、子育てを大切に
して、楽しんでいるご家庭の保護者の
様子が伺えました。子育て標語集(折本型)を
作製しました。

令和6年度
NO.2

家庭教育情報紙

羽 昨 市

30
第30号

平成24年度に刊行して、
本号で通算第30号と
なりました。

羽咋市家庭教育推進協議会

検索

こちらのQRコードで
家庭教育推進協議会の
webサイトにアクセス
できます



家族川柳

市内小学校(3~6年)
中学校・高等学校から、
1,119点出展

【お題】
「あいさつ、家族、食事、
お手伝い、羽咋市」
の中から、お題を選択

手作りの
ごはんをいつも
パワー出る
中学1年 女

守りたい
体と心と
その笑顔
母

羽咋市は
たくさん笑顔が
見える場所
小学4年 男

守りたい
君の笑顔が
見える場所
母



ファミリーふれあい短歌

市内中学校(2年生)
高校(1年生)から、
158点出展

おはようと朝がはじまるその声で
良い1日になる気がするな
高校1年 女

手伝いで 楽になれると うれしいな
空いた時間は 家族団らん
中学2年 男

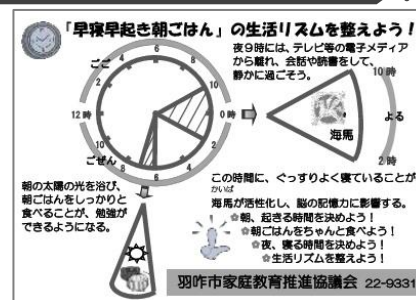
一つの句(上の句(五七五)・下の句(七七))
からなる「ファミリーふれあい短歌」を募集

街頭巡回活動

青少年非行の未然防止と問題行動の早期発見のため、
市内を定期的に巡回しました。(年間10回)



挨拶運動時の啓発カード入り
ポケットティッシュの配布



CAP講演会

CAPとは、Child
Assault
Prevention



子どもたちがあらゆる暴力から自分自身を
守るために何ができるかを考える人権教育
プログラムです。

保護者ワークショップ
の様子



ある講演会で聞いたこのような言葉に感銘しました。
今でも深く心に残っている言葉です。

「人は食べたものでできている」

You are what you eat.

毎日摂取する食べ物から栄養を得て、
体を構成する細胞が作られている
ことを意味します。



北原照久(某会社代表取締役)氏は、
『体は食べた物で作られる。
心は聞いた言葉で作られる。
未来は話した言葉で作られる。』

という名言を残しています。

あなたは どう 思いますか。

頭 の てっぺん から 足 の つま先 まで、
あなたの食べた物で体が作られていきます。
今一度ご自分の食生活を見直してみませんか。



コ食について

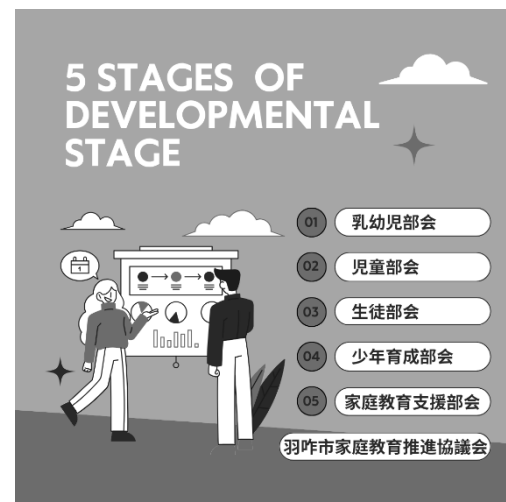
- 孤食 (子ども一人だけで食べる食事)
- 個食 (家族と一緒にでも
それぞれ別メニューの食事)
- 固食 (同じものばかりに固定した食事)
- 小食 (意識的に行っている少食)
- 粉食 (パンや麺など粉が主原料の柔らかく
早くのみ込める食事)
- 濃食 (スナック菓子など塩分糖分が濃い味付け
の食事)



・・・⇒ コ食問題

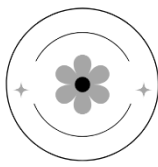
この“コ食”が続くと、
子どもたちに様々な悪影響
(例えば、協調性が身につかず、わがままな性格にな
りがち。コミュニケーション能力が欠如しやすい。キレ
やすい性格になってしまいがち等)を及ぼします。

ご家庭に合った“コ食”対策をご家族で、一度話
し合ってみましょう。



子育てにまつわる格言

- 案ずるより生むがやすし
- 親はなくとも子は育つ
- 一姫二太郎
- かわいい子には旅をさせよ
- 三つ子の魂百まで
- 親の心子知らず
- 寝る子は育つ
- 子どもは風の子



能登半島地震から1年が経過する頃に、気を付けてほしいこと

大人にも子どもにも
起こります。



大きな地震の1年後などの節目を迎える頃に、心や体の調子がいつもと
ちがって感じる場合があります。
このようなことがありましたら、親や先生など、身近な大人に相談する
よう伝えてください。

【からだ、気持ち、行動 など】

節目反応

大きな出来事・つらい出来事から、1カ月・1年などの節目に、心や体が
いつもと違った状態になることを節目反応といいます。

昨年の能登半島地震被害におかれましては、一日も早く、日常に戻りますことをお祈り申し上げます。
度重なる地震に、おとな子どもも今でも不安な時間を過ごしています。
このたびの能登半島地震のような災害が発生した際には、日常が一変するなか、普段通りに過ごしているように見えても、子どもたちは身近なおとなの助けを必要としている場合があります。

詳しくは、こちらのQRコードから節目反応に関する資料(PDFファイル)にアクセスできます。ご覧ください。



編集 後記

令和に入り、丸6年が経ちました。昭和・平成に生まれた世代が親として子育てをがんばっています。時代が変わっても、子育ての根本は変わらないですし、当会としては、健やかな子どもの成長のために、家族のふれあい事業を続けていきたいと考えております。

さて話は変わりますが、今あなたには趣味や興味のあることはありますか。子育てや仕事、家事に追われて、今は趣味に時間をとることができないかと思います。そんな時は自分だけで家事をするのではなく、家族に協力してもらうことも一つだと思います。

時間を活用し、充実した生活を送りましょう。

また、子育てが終わってからの自分の生活を充実させるためにも、何かないか一度考えてみませんか。